

きゅうしゅう

編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎 TEL092-483-8811

目次 CONTENTS

- 1 部隊紹介
陸上自衛隊別府駐屯地
- 2 自治体紹介
大分県別府市
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



1 陸上自衛隊別府駐屯地紹介

駐屯地司令挨拶



第41普通科連隊長 兼 別府駐屯地司令
1等陸佐 徳永 勝彦（とくなが かつひこ）

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」の読者の皆様、こんにちは。第41普通科連隊長兼ねて別府駐屯地司令の徳永です。今年で、別府駐屯地は創立58周年を迎えました。私は、駐屯地司令・連隊長としての統率方針に「和」を掲げています。この意味は大きく3つあり、地域の皆様との「和」、駐屯地・部隊としての「和」、そして隊員一人一人の家族を含めた「和」を大事にすることです。いついかなる事態が生起しても国家国民の為、任務完遂できるよう、さらに「信頼され、親しまれる駐屯地」となるよう日々訓練に励んで参ります。

駐屯地紹介

別府駐屯地は、昭和53年8月、市の中心部から現在の緑美しい駐屯地に移駐しました。背後には秀峰鶴見岳を仰ぎ、湯けむり立ち上がる別府市街と青く澄んだ別府湾を眼下におさめ、晴天時には四国まで遠望できる景勝地にあります。

駐屯地は、東西に約700m、南北に約700mで福岡ヤフードームの約8割分の広さがあります。交通の便も良く、駐屯地正門を出るとすぐに大分自動車道別府インターチェンジがあります。また、車で日出生台演習場までは約40分、十文字原演習場までは約15分と、訓練環境にもたいへん恵まれています。駐屯地に所在する部隊は、さらに「信頼され、親しまれる駐屯地」となるよう「駐屯地内部隊の一体・地域との一体」を目指して日々訓練に励んでいます。

駐屯地沿革

- 昭和32年10月 別府市野口原（米軍キャンプ跡地）に第3特科群が久留米駐屯地から移駐し別府駐屯地を設置（現在の別府公園）
- 昭和34年 8月 第3教育団本部を設置、第111教育大隊新編
- 昭和37年 8月 第41普通科連隊編成完結
- 昭和44年 7月 第3教育団本部が、相浦駐屯地へ移駐
- 昭和52年 4月 第3特科群が湯布院駐屯地へ移駐
- 昭和53年 8月 旧駐屯地（野口原）から新駐屯地（扇山）へ移駐
- 平成11年 3月 第111教育大隊廃止
- 平成15年 4月 第4後方支援連隊第2整備大隊第3普通科直接支援隊新編
- 平成25年 4月 第4後方支援連隊第2整備大隊第3普通科直接支援中隊へ改編
- 平成26年 4月 西部方面通信群群本部中隊映像写真小隊地上伝送班別府地上組を配置

別府駐屯地

所在部隊紹介

第4 1 普通科連隊 ～平和を胸に団結～

別府駐屯地の基幹部隊として大分県の防衛警備及び災害派遣等を任務として隊員は日々訓練に励んでいます。



第4 後方支援連隊 第2 整備大隊 第3 普通科直接支援中隊 ～車両整備などの技術集団～

第4 1 普通科連隊と密接に連携協力し車両・火器・通信機材の整備支援を任務として日々技術の向上に努めています。



第4 0 4 会計隊 ～プロが集う会計集団～

隊員の給与の支払いや部隊が必要とする物資の調達等の会計業務を担任しています。



第3 0 4 基地通信中隊 別府派遣隊 ～通信整備などの技術集団～

別府駐屯地の通信回路を維持・運営し別府駐屯地、南別府駐屯地の窓口として、電話交換業務を行っています。



別府駐屯地 業務隊 ～第一線部隊のバックアップ～

駐屯地関連施設の維持・補修や駐屯地で勤務する隊員の福利厚生等を主任務としています。



上記主要部隊以外にも、西部方面通信群 群本部中隊 映像写真小隊 地上伝送班 別府地上組、第134 地区警務隊 別府派遣隊、大分地方協力本部 大分地域援護センター、などの部隊が所在し、日々各種業務及び訓練に励んでいます。

部隊の各種活動状況

訓練



第1次基礎となる部隊の訓練検閲



第2次基礎となる部隊の訓練検閲



第3次基礎となる部隊の訓練検閲

教育



自衛官候補生課程教育入隊式



新隊員特技課程教育修了式



陸曹候補生履修前教育

防災



大分県警察との共同訓練



大分県総合防災訓練



災害派遣（林野火災）

行事支援



第101回別府八湯温泉まつり支援



第64回別府大分毎日マラソン大会協力



別府市消防出初式支援

2 自治体紹介



市徽章

「別」の字を図案化したもので、「マルベツ」とよばれ市民に親しまれています。別府町時代の明治41年7月に制定され、当時、応募したものの中から選考して決定したとされています。

大分県 別府市

おんせん県おんせん市
世界一の“とんがった”
まちをめざして

〒874-8511

大分県別府市上野口町1番15号

ホームページアドレス: <http://www.city.beppu.oita.jp/>

別府市長
長野 恭紘（ながの やすひろ）

市長あいさつ

おんせん県おんせん市「べっぴん」

「湯のまち」として知られる別府市は、大正13年4月に市制施行され、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置しています。阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳の麓で裾野をなだらかに別府湾へと広げる扇状地特有の地形により、緑豊かな山々と波静かな別府湾に囲まれた美しい景観を誇り、市内全域から竜のように立ち昇る湯けむりは、別府を象徴する風景として、市民はもちろん観光客からも親しまれています。

温泉で人々の心と体を癒すまち

市内には、別府八湯と呼ばれる8つの温泉エリアが点在しており、2千2百を数える源泉から湧出する温泉は、毎分8万3千リットルにも及び、日本一の湧出量と源泉数を誇っています。この温泉は、医療・浴用などの市民生活はもとより観光・産業などにも幅広く活用され、古くから日本を代表する温泉地として知られています。また、国内外から年間800万人もの観光客が訪れており、世界中の人々の心と体を癒しています。

世界の国々から学生が集まるまち

人口12万人のうち、約3,100人の留学生が勉学に励んでおり、市民38人に対し1人の留学生が暮らす日本でも有数の異文化あふれる国際交流都市として、別府の魅力を発信し続けています。



▲ 扇山火まつり

別府を代表するお祭りの一つ『別府八湯温泉まつり』のイベントである。夜空に浮かび上がる炎のシルエットが別府に暮らす訪れを告げ、まつりを華やかに盛り上げる。

(背景: 湯けむり)

いたるところで立ち昇る湯けむりは別府の象徴である。夜間はライトアップされ、扇山とは違う幻想的な雰囲気演出する。



▲ 竹瓦温泉

明治12年の当初に建築されたものは竹屋根葺きの浴場で、その後改築されたものが瓦葺きであったため、竹瓦温泉の名称がついたと伝えられている。現在の建物は昭和13年に建設されたもので、正面は唐破風造（からはぶつくり）の豪華な屋根をもつ温泉となっており、その外観は別府温泉のシンボリックな存在となっている。



▲ 地獄蒸し料理

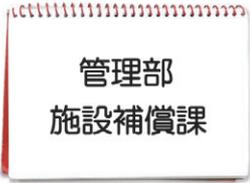
温泉の噴気を利用して、海・山の幸を蒸し上げて食べる別府独特の料理方法。高温の蒸気で一気に蒸し上げるため、食べ物の素材本来の味が引き出され、美味しく食べることができる。



別府市宣伝部長

べっぴん

©Team Beppyan



③ 九州防衛局

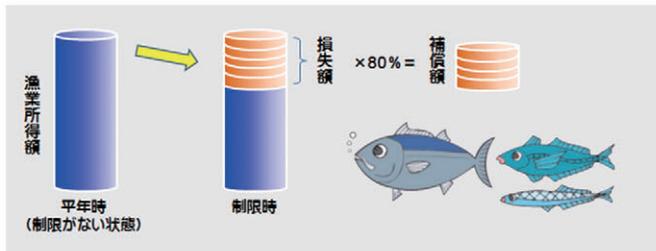
漁業補償業務

漁業補償金

◆ 自衛隊又は在日米軍が海上で演習や訓練を行うために一定の水域について、期間を定めて漁船の操業を制限したり禁止をしたりすることがあります。このような場合に、以前から漁業を営んでいた方が漁業経営上の損失を受けた時は、法令の規定に基づき国がその損失を補償しています。

漁業補償金の算定

◆ 漁業補償金等は操業制限等がない状態の漁業所得額から操業制限等がある状態の漁業所得額を差し引いた額の80%が支払われます。ここでいう漁業所得額は、漁業粗収入から漁業経営費を差し引いた額です。



上記のほか、法令の規定に該当しないため、漁業補償を受けられない方に対して、一定の要件に該当する場合には、漁業見舞金を支給する制度があります。



日向灘掃海訓練海面における漁業補償

◆ 日向灘掃海訓練海面は、平成4年から宮崎県の関係漁業協同組合等の理解と協力の下、十分な調整を行い、同意を得た上で合意書を取り交わし、一定の区域及び期間を設定し、当該区域における操業制限期間中に被った漁業経営上の損失を補償しています。

なお、訓練期間中、同区域付近を航行する船舶のために、海上保安庁等と調整し、海上自衛隊が警戒艦艇を配置する等、安全対策には十分配慮し、訓練を実施しています。

◆訓練海面設定の目的及び内容等

- ・訓練用機雷の投下及び揚収並びに掃海訓練
- ・11月20日～11月30日(平成27年度)
- ・全ての漁業の操業の禁止
- ・18.5km×18.5km(約343km²)



宮崎県漁業協同組合連合会代表理事会長 (宮崎県漁政対策委員会会長)

宇戸田 定信 (うとだ さだのぶ) 氏からコメントをいただきました。

日向灘掃海訓練については、平成4年11月に都農町・川南町沖合で実施されました。

海面設定に際し、湾岸戦争後の平成3年に自衛隊のペルシャ湾における機雷等の除去及びその処理は高い評価を受けており、その訓練ということもあり訓練反対の声が上がる中、訓練の重要性等から受入れることとなったと聞いております。

私は、平成22年に北浦漁業協同組合組合長に就任し、現在は宮崎県漁業協同組合連合会代表理事会長として、当水域に関わる漁業関係者が協力し様々な面において協力をさせて頂いております。

また、昨年行われた日向灘掃海訓練(日米共同)において、訓練を間近で見学させて頂き、改めて自衛隊の日々の訓練等の重要性を考えさせられました。

東日本大震災の支援を初め、伊豆大島の土石流災害の支援、フィリピンでの台風30号の災害支援活動等自衛隊の災害派遣活動における隊員の活躍に感謝と敬意を表する次第であります。

今後、我々漁業関係者としていたしましても、当水域で行われる訓練の成果が十分に発揮されますよう引き続き協力をして参りたいと思っております。

業務紹介

管理部
施設管理課

施設管理課の業務

概要



- ◆ 施設管理課の所掌業務は、国有財産法などの規定に基づく自衛隊の土地などの管理並びに防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の規定に基づき、航空機の離陸、着陸等により生ずる騒音を原因とする障害が特に著しい区域として防衛大臣が指定した区域に所在する土地の所有者の申出により買い入れた土地（周辺財産）の管理を行っています。

当局の管轄区域は、福岡県・佐賀県・長崎県及び大分県の4県であり、熊本県・宮崎県及び鹿児島県は熊本防衛支局の管轄となっています。



主な業務



1. 土地を管理するための測量、隣接地との境界を明確にするための境界確認、土地の数量などを管理するための国有財産台帳の整備、及び国以外の者に対する使用許可。
2. 日米地位協定に基づき米合衆国軍隊あて無償提供している財産の管理。
3. 飛行場や演習場の周辺で騒音障害が特に著しいとして防衛大臣が指定した区域に所在する土地の所有者の申し出により買い入れた土地（周辺財産）について、緑地帯や緩衝地帯として整備し、また、自治体からの要望により、行政目的を妨げない範囲において周辺にお住まいの皆様が利用できる公園や広場としての整備も実施。



周辺財産の有効活用事例 (築上町パークゴルフ場)



築上町にパークゴルフ場（ホール数：18ホール）の整備を行いました。町管理の下、地域住民の皆様にご利用されています。



土地の境界確認



測量調査を行う場合や隣接地との境界を確定する場合は、現地で立会い境界確認を行います。

4 インフォメーション

防衛大臣感謝状贈呈

10月17日、平成27年度防衛大臣感謝状贈呈式（ホテルグランドヒル市ヶ谷：東京都新宿区）が開催され、波多野芦屋町長に中谷防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

波多野芦屋町長は、航空自衛隊芦屋基地の基地問題について、地元住民の不安や懸念等の解消に取り組み、同基地の安定的使用に積極的に協力されたことに対し、感謝の意を表するものです。



在日米軍従業員永年勤続表彰式

10月20日、米海軍佐世保基地「ハーバービュークラブ」において、佐世保地区に所在する米軍施設で勤務する従業員の永年勤続者表彰式が行われました。

表彰式は、永年にわたり勤務した在日米軍従業員を表彰し、その労をねぎらうとともに労働意欲等の向上を図ることを目的として日米が共同で主催したもので、今年度は勤続年数30年、20年、10年の合わせて73名の方々が表彰されました。



九州防衛施設地方審議会開催

11月30日、九州防衛局及び陸上自衛隊目達原駐屯地において、平成27年度九州防衛施設地方審議会が開催されました。

今回は、防衛行政や防衛施設に対する各委員の認識をなお一層高め、理解を深めていただくため、「沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の本土分散・実施について」の説明を実施しました。その後、各委員等は目達原駐屯地に移動し、駐屯地司令から同駐屯地の概況説明を聴講したのち、陸自CH-47JAヘリコプターに搭乗し、日出生台演習場を上空から視察しました。



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
- ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>